



# MS440-18001

## ルーフスタビライジングフィン

取付・取扱説明書

この度は86用ルーフスタビライジングフィンをお買い上げ頂きありがとうございます。開封時に商品外観の傷、凹み等をご確認ください。本書には上記品の取付けと取扱いについて記載してあります。取付前に必ずお読み頂き、正しい取付、取扱を実施してください。なお本書は必ずお客様にお渡しください。

★本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。

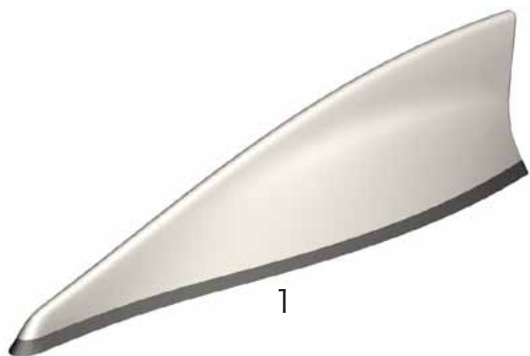
### ■品番・適合

品番	塗装色	備考
MS440-18001-A0	サテンホワイトパール(37J)	86 全適応 '12.04~
MS440-18001-C0	クリスタルブラックシリカ(D4S)	
MS440-18001-D0	ライトニングレッド(C7P)	
MS440-18002-00	未塗装品	

・最新の適合情報はTRD カタログサイトをご覧ください。<<http://www.trdparts.jp/>>

### ■構成部品

	部品名	品番	数量	備考
1	ルーフスタビライジングフィン		1	アンテナ
2	スクリュー		1	配線固定用 5mm
3	アルコールクリーナー		1	
4	型紙		1	ルーフスタビライジングフィン位置決め用
5	取付・取扱説明書(本書)		1	本書は大切に保管してください



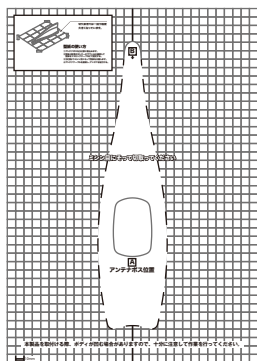
1



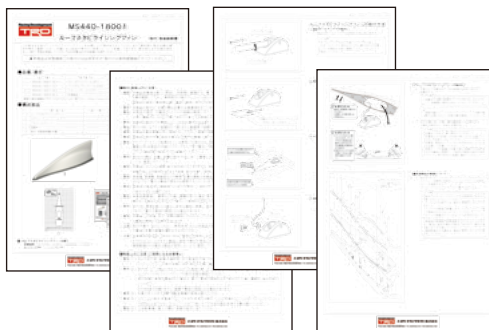
2



3



4



5

### ■ルーフスタビライジングフィン仕様

- ・受信周波数 F M(76.0MHz~90.0MHz) A M(530KHz~1.710KHz)
- ・カップリング方式 アンテナボス部に接続



トヨタ テクノクラフト株式会社

〒222-0002 横浜市港北区節岡町800 TEL (045)540-2121 FAX (045)540-2122

## ■取付・取扱上のご注意

- ⚠ **確認** 本商品到着後は直ぐに開封し、内容物に破損がない事、本書に記載されている付属品がすべて揃っている事を確認して下さい。車両取付け後のクレームには応じられませんのでご承知おき下さい。  
本商品は過去に事故歴の無い車両に確実に取付け出来ます。
- ⚠ **警告** 本商品の取付け、交換の際は本書の注意事項を守って安全な取付作業を行ってください。
- ⚠ **警告** 本商品の固定、付属品・ケーブルの接続は確実に行って下さい。固定や接続が不十分ですと本商品が正常に機能しないばかりで無く、剥れたり落下する原因となります。
- ⚠ **警告** 本商品の取付け・圧着時にルーフが凹む場合がある為、十分に注意して作業して下さい。
- ⚠ **警告** 取付け時にアンテナ配線を引っ張りますと断線等で故障の原因となる為、ご注意下さい。
- ⚠ **警告** 本商品を適合車種以外に使用しないで下さい。破損や故障により重大な事故を招く場合があります。
- ⚠ **警告** 本商品の取付作業・部品交換は必ず専門の整備工場で行なってください。
- ⚠ **警告** ボディーコーティング処理されている車両への取付けは、両面テープが十分に接着しません。  
必ず接着面以外(本商品の外側)マスキングテープ等で養生し、両面テープ接着部のコーティングを市販のコンパウンド(細目)等で除去してから接着して下さい。
- ⚠ **警告** 取付けの際は、本書に記載の取付方法に従って確実に付けてください。特に貼付け面の清掃・脱脂については、確実に行って下さい。
- ⚠ **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
- ⚠ **警告** 急発進、急制動、急旋回などの無理・乱暴な運転は本商品に過剰な負担をかけ、損傷、故障の原因となるばかりでなく、重大な事故の発生をも誘発することになりますので、絶対におやめください。
- ⚠ **警告** 本商品は基本的に舗装路での走行を想定して設計されています。悪路での走行は十分な安全スピードで走行するようお願いします。
- ⚠ **警告** 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に、脱落に繋がる変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用をおやめください。
- ⚠ **警告** 走行中に異常を感じたら直ちに安全な場所に停車し、取付部分をよく点検してください。そのまま走行を続けると、重大な事故の原因となる場合があります。
- ⚠ **警告** 本商品への改造、加工、加熱は絶対に行なわないでください。保証が受けられないだけでなく、破損や重大な事故の原因となる場合があります。
- ⚠ **注意** 取付作業や、走行にともない、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。上記の事項と本書の装着手順を必ずお守りください。
- ⚠ **注意** 未塗装品(MS440-18002-00)は、車両の外板色に合わせた塗装が必要になります。塗装後の乾燥温度を70℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分に注意してください。強制乾燥させる場合は製品に変形しないように固定してください。

## ■取扱上のご注意(ご使用になるお客様へ)

- ⚠ **警告(1)** 日々の走行前(始業点検時等)及び高速走行後(サービスエリアの休憩を含み)には必ず、ルーフスタビライジングフィンの取付状態に浮き、剥がれが無い事を確認してください。
- ⚠ **警告(2)** 走行中、ルーフ側より今までになかった風切り音、コトコト音が発生した場合は、直ぐに安全な場所に停車しルーフスタビライジングフィンの取付状態を確認してください。  
取付状態に異常が確認された場合は、直ぐに車両の使用を止め、取付けた工場に連絡をし指示を受けてください。  
そのまま走行を続けると、破損や事故の原因となる場合があります。
- ⚠ **警告(3)** お車の手入れをする際、自動洗車機の使用は避けてください。
- ⚠ **警告(4)** スチームの高圧洗車器でルーフ付近を洗浄する際は、ノズル先端をルーフスタビライジングフィンに70cm以上近づけないようにしてください。特にモール付近を高圧洗浄する事は避けてください。
- ⚠ **警告(5)** 立体駐車場に搬入の際は、係員の指示に従ってください。

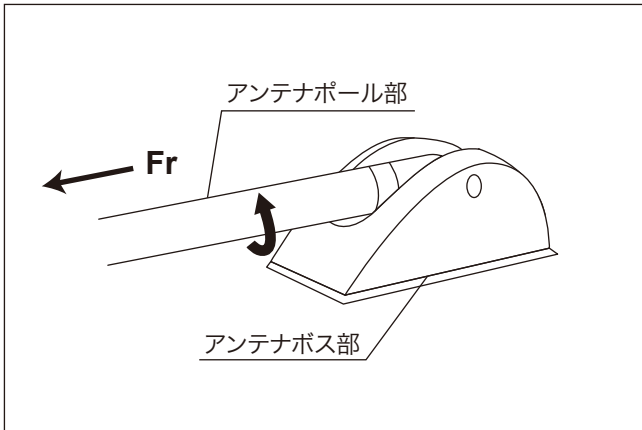
## ルーフスタビライジングフィンの取付方法

### 1. 純正ポールアンテナの取外し

1. 純正のポールアンテナを反時計方向に回し取外す。

#### ⚠ 注意

ポールアンテナを外した際、アンテナボス部のポールアンテナ取付けネジ穴に錆や汚れが付着している場合には良く清掃し、エアブローにて飛ばしてください。

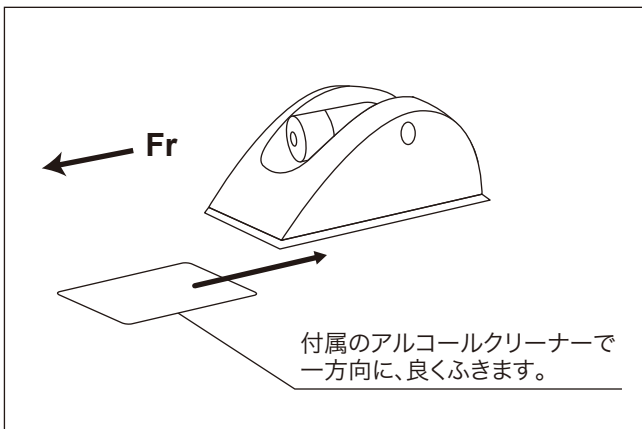


### 2. 取付部(貼付部)の清掃

1. ルーフスタビライジングフィン貼付位置の汚れを同梱品③のアルコールクリーナーを使用し良く拭取る。

#### ⚠ 注意

- ・汚れが酷い場合は洗車をして、良く乾かしてからアルコールクリーナーで脱脂してください。
- ・脱脂にパーツクリーナーは使用しないでください。
- ・ボディコーティングが施されている車両に関しては前ページの注意事項に基づいて除去作業を行ってください。
- ・車両のアンテナベースに比べてルーフスタビライジングフィンが大きい為、フィンをアンテナベースに被せて外側を紙テープ等でマーキングしマーキングの内側を脱脂する事も可能です。



### 3. ルーフスタビライジングフィンの取付位置決め

1. 上記2の作業で脱脂した場所を目安にアンテナボスに型紙を被せ、マスキングテープ等で固定する。

#### ⚠ 注意

- ・ルーフ左右の中心位置にあり車両センターラインに沿っている事、ルーフ前後の曲面にあっている事を確認してください

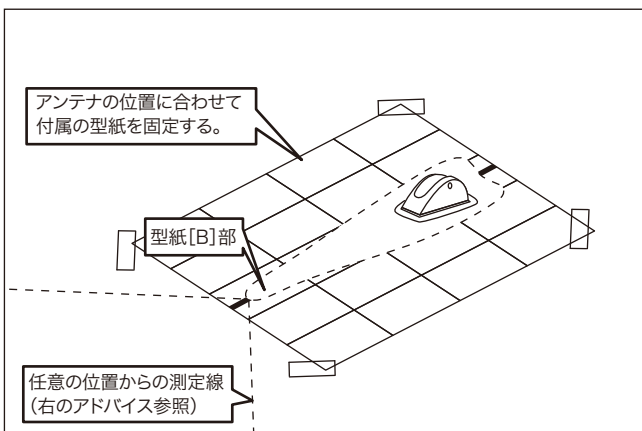
#### 📌 アドバイス

- ・車両左右の任意同位置から型紙中心線の距離を揃える事で、より正確な位置出しが出来ます。

2. 型紙[B]部よりミシン目にそって型紙を分離します。

#### ⚠ 注意

- ・無理に引っ張って型紙を破らないように注意してください。

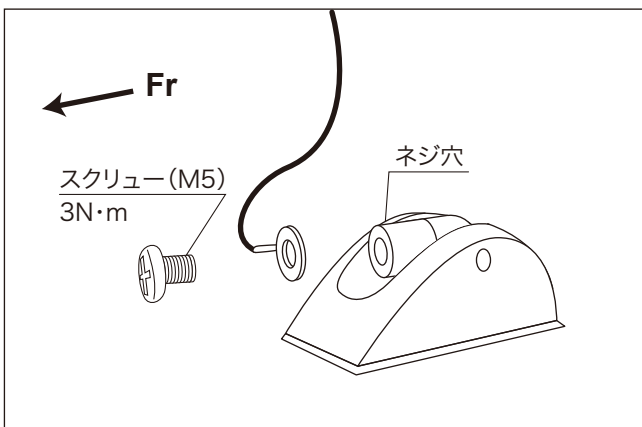


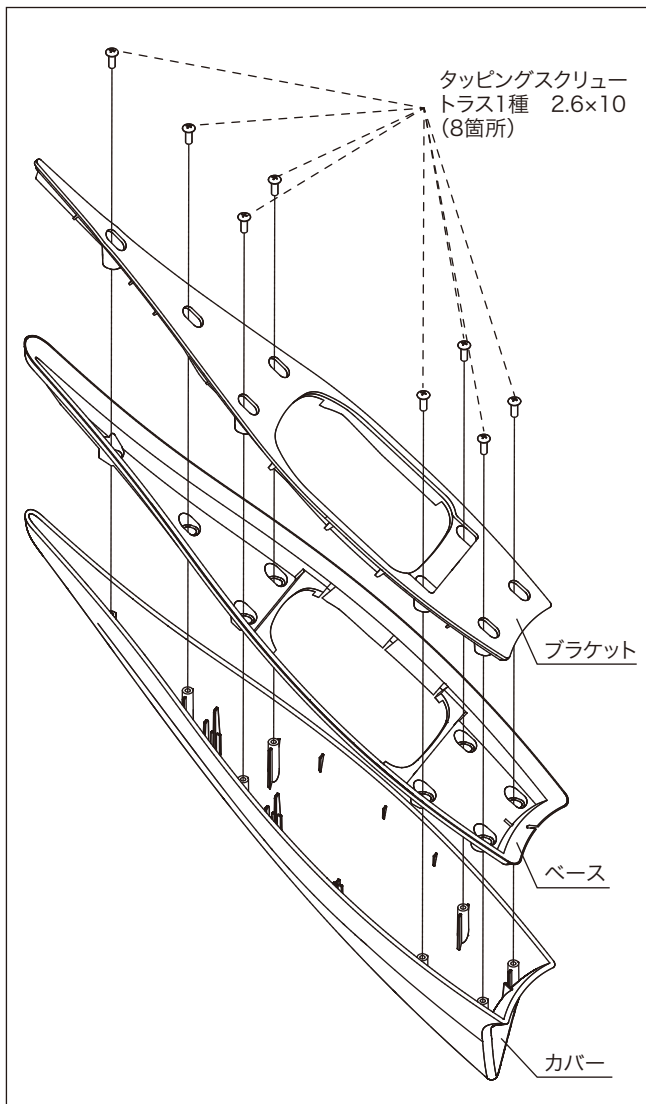
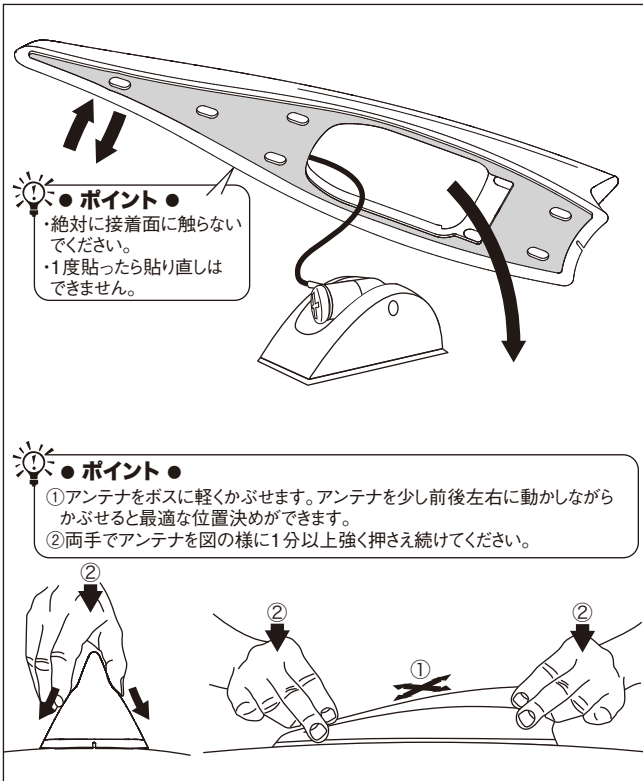
### 4. 配線ターミナルの接続

1. 離型紙を全て剥がす。(ほこり等がつかないように注意してください。)
2. 同梱品②のスクリュー(M5)を使用してルーフスタビライジングフィン内の配線をポールアンテナネジ穴に接続し3N・mで締め付ける。  
※端子の向きは図を参考にしてお取付けください。

#### ⚠ 注意

- ・接続時に配線を必要以上に引っ張る事はしないでください。断線等の原因となります。
- ・配線を接続した時点でルーフスタビライジングフィンをアンテナベース部に被せ、FMラジオを受信できるかの電氣的接続を確認してください。  
※まだ貼付けはしません。





## 5. ルーフスタビライジングフィンの貼付け

- 作業[3]で位置決めしてある型紙の中央に合わせて仮置きする。

### ⚠ 注意

・仮置きする際に配線をアンテナ内におし込むようにして、接着面に巻き込まないようにしてください。

### 📌 アドバイス

・型紙内縁とルーフスタビライジングフィン外縁の隙間が全周にわたり、均等の事を確認してください。

- 貼付位置に狂いの無い事を確認後①②の部分を上側から押付けて、完全に圧着する。(49N・m以上)

### ⚠ 警告

圧着が不十分ですと、剥がれ、浮き、最悪の場合、脱落の可能性があります。確実に圧着してください。

### ⚠ 注意

・圧着は1分以上、強く押付けてください。  
 ・圧着後24Hは強い力を掛け無いように注意してください。洗車もしないでください。  
 ・圧着時、車両のルーフパネルを凹まさないように充分注意して圧着してください。  
 ・両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

## ■未塗装品の取扱について

- 図のようにルーフスタビライジングフィンからタッピングスクリーン(8箇所)を取外しベースとブラケットを取外し、カバーを塗装する。(タッピングスクリーン トラス1種 2.6x10)

### ⚠ 注意

・取外したタッピングスクリーンは再使用しますので無くさないようにしてください。  
 ・アンテナの丸端子には、絶対に塗装をしないでください。アンテナの感度に影響します。マスキングテープ等で塗装がかからないようにしてください。  
 ・カバーに接着されているアンテナを取外さないでください。  
 ・塗装後の乾燥時、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので、焼付け温度には十分注意してください。  
 ・強制乾燥させる場合は、製品が変形しないように固定してください。

- カバーにベース→ブラケットの順に組付ける。